

# 豊かな心をもち 輝いて生きる 子どもの育成を目指す学校経営

## 勤労・奉仕・思いやり・共に学ぶ楽しい学校

宇都宮市立横川中央小学校 青木 孝夫



「菊の搬出」

本校は、宇都宮市の南部田園地帯に位置し、児童数三百三十八名の学校です。近年では、インターパークを中心とした新興住宅地の開発が目覚ましく、この四年間で児童数は約一・六倍となりましたが、地域・保護者ボランティアが大変盛んです。

本校は教育目標に勤労・奉仕を掲げており、地域教育力を導入し、体験的活動や道徳の充実を図り「働く喜びを知る子ども」の育成に努めています。

一 全校挙げての栽培活動  
全校生による米作りに加え、一年(アサガオ・チューリップ)二年(野菜・サツマイモ)三年(マリーゴールド・パンジー)四年(サルビア・コスモス)五年(稲草)六年(菊)の栽培を生活・総合的な学

習の時間に実施しています。低・中学年が栽培する花は年間を通して学校に潤いを与え、五年生が栽培する桜草は入学式・卒業式に飾ります。六年生が咲かせた大輪の菊の花は、学校と地域の福祉施設などに飾ります。また、四年生は地域でのコスモス栽培を通して、海外日本人学校との交流も実施しています。

さらに、業間時の勤労タイムでは学級花壇・教材園の整備、学校の美化活動に励み、働く喜びを体感しています。

### 二 教材豊かな道徳授業

保護者による教材作成ボランティアは、毎月担任の先生方の注文に応じて、いろいろな手作り教材を作成してくれています。中でも道徳の教材はすばらしく、ペープサート、場面絵など心温まる教材が整備されて

### ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童の育成

ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童の育成  
栃木市立寺尾中央小学校 武井 健智  
車で東北自動車道、栃木インターチェンジを降り、鹿沼方面に向かって山間を十分程走った所に、本校があります。

子どもたちは、お母さんが作ってくれた教材に目を輝かせて道徳の授業に臨んでいます。今後地域教育力を導入し、体験的な学習により心の教育を推進したいと考えています。

古くから文化が栄え、学区内の出流地区は、県内屈指の『蕎麦の名所』でもあります。今年四月に着任した折には、間もなく取り壊しとなる管理棟の玄関で、アンティークな木製の靴箱が私を出迎えてくれました。

本校は、二年後に寺尾南小との統合を控え、現在、プレハブ校舎を使用して教育活動が行われています。一 小中・小小連携の充実  
統合を視野に入れ、また、

積極的な交流に努めています。二 ふるさと学習の充実  
本校では、教科学習の一環として地域に出ていく活動の他、四年生以上の児童全員が、地域の郷土芸能である「おはやし」を地域の方々の指導の下、年間を通して練習し、運動会や地区のフェスティバル等で発表しています。また、地域に出るのゴミ拾いや永野川河川敷の除草活動も、毎年全校生で実施しています。

これらの活動を通して豊かな自然と文化を大切に育む心を育み、地域のために自ら行動できる子どもの育成につながることを期待しています。



「おはやし」の練習風景